

# 自己点検・自己評価報告書

平成 29 年 3 月 31 日現在

ISI 外語カレッジ

平成 29 年 3 月 31 日作成

# 目次

<b>第 1 設置者及びマネジメント</b> .....	1	6-1 法令の順守.....	21
<b>基準 1 理念・教育目標</b> .....	1	<b>第 2 運営に関する事項</b> .....	22
1-1 理念・目的・育成人材像などが明確に定められているか.....	2	<b>基準 7 運営全般</b> .....	22
1-2 教育目標が明確に定められているか.....	3	7-1 組織的な運営 .....	23
1-3 学校の将来構想を抱いているか.....	4	7-2 納付金 .....	25
1-4 理念と教育目標が教職員、学生に周知されているか.....	5	7-3 情報の共有化及び発信.....	26
<b>基準 2 組織</b> .....	6	<b>基準 8 学生募集</b> .....	27
2-1 組織体制.....	7	8-1 募集方針.....	28
2-2 教員組織.....	8	8-2 募集活動.....	29
2-3 事務組織.....	9	8-3 入学選考.....	31
2-4 採用と育成.....	10	<b>基準 9 教育活動</b> .....	32
<b>基準 3 財務</b> .....	11	9-1 教育計画.....	33
3-1 財務状況.....	12	9-2 実施.....	35
<b>基準 4 教育環境</b> .....	13	9-3 成績判定.....	39
4-1 校地・校舎 .....	14	9-4 授業評価.....	40
4-2 施設・設備 .....	15	<b>基準 10 学生支援</b> .....	41
<b>基準 5 安全・危機管理</b> .....	17	10-1 支援体制 .....	42
5-1 健康・衛生.....	18	10-2 日本社会を理解し、適応するための支援 .....	43
5-2 危機管理.....	19	10-3 生活面における支援 .....	44
<b>基準 6 法令の順守等</b> .....	20	10-4 進路に関する支援.....	46
		10-5 入国・在留関係に関する指導及び支援 .....	48
		<b>基準 11 教育成果</b> .....	50

11-1	成果の判定 .....	51
11-2	卒業生の状況の把握.....	52

# 第 1 設置者及びマネジメント

## 基準 1 理念・教育目標

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>●ISI グループの理念 「私たちは、グローバル人材育成のための教育環境の創造を通じて、人々の夢の実現と国際社会の発展に貢献します」</p> <p>●ISI の教育方針 【国際理解を深める教育——国際力】 世界各国の学生との異文化交流で「国際交流」を深め、グローバルに活躍できる人材を育てます。</p> <p>【理解と納得の日本語教育——日本語コミュニケーション力】 目的に合わせ「読む・聞く・書く・話す」の技能と関連付けながら日本語運用能力を総合的に高めます。</p> <p>【社会人としての総合的な力を高める教育——人間力】 社会や企業の中で自立した一人の社会人として力強く生きていくための総合的な力「人間力」を学びます。</p> <p>●本校の特色は何といても在校生の多様化にある。平成 29 年 3 月 30 日現在、30 か国から約 360 名の学生を受け入れており、このグローバルな環境を活かして日本語コミュニケーション力の養成を行い、社会に貢献する人材の育成を実現できる点が第一の特色である。</p> <p>●本校の将来構想は、学習者と社会の幅広いニーズに応えるための学校運営をめざし、入口から出口を一貫した理念で経営していく方針である。また大学・大学院・専門学校、企業との連携を深め、より高い次元でのグローバル人材育成教育機関を目指した将来構想を持っている。</p>	<p>●ISI 外語カレッジの歩み 【第一フェーズ】 2002 年、International Study Institute 東京として新宿区高田馬場に設立、定員 150 名からのスタートとなった。</p> <p>【第二フェーズ】 翌年には International Study Institute 中京を岐阜県岐阜市に設立、定員 100 名からスタート。</p> <p>【第三フェーズ】 2006 年、東京ランゲージスクール本校の経営譲渡を受け、東京では 2 校目となる日本語学校「ISI ランゲージスクール」を移転開校。定員 360 名からのスタートとなった。非適正校の状態を引き継ぎ、受け入れ学生の国籍改革、学生選抜、コースカリキュラムの見直しを行った。</p> <p>【第四フェーズ】 2006 年以降増員を進め、2014 年校舎を池袋に移転、設置法人を株式立から学校法人立へ変更。教室には電子黒板等の設備を設置。校舎は専門学校との共存型とし、学生ラウンジや図書室、PC 施設やカフェなど、学習環境の大幅な改善を行った。</p> <p>【第五フェーズ】 自己点検・自己評価を実施し、さらならレベルアップを質・量ともに図れるよう中長期ビジョンを策定している。</p>

最終更新日付	2017 年 3 月 31 日	記載責任者	金 枝蓮
--------	-----------------	-------	------

## 1-1 理念・目的・育成人材像などが明確に定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	5	学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められている。	教育理念・育成人材像がホームページや設置者の企業概要にも明記されている。	非常勤講師及び非正規雇用の職員においては理解及び定着が完全ではないので、契約時の周知が必要。	学校案内書 ホームページ
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	5	具体的に実現に向けた計画を立案・実施している。	2015年度からの中期ビジョン戦略MAPで戦略目標・数値目標を達成するためのKPIを確立し毎月進捗を確認している。	KPIの定期的な進捗確認と目標数値の見直し。	2015年－2017年度中期計画
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	5	理念・目的・行動指針は普遍的なテーマであり、中期戦略において、時代のニーズに合わせた内容になっているか見直しをしている。	3年ごとに設定する中期ビジョンを基に戦略MAP・BSCを作成している。	時代のニーズだけでなく、入管法の変更や社会情勢の変化も常に敏感な学校運営が必要。	2015年－2017年度中期計画
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	5	教職員に周知・公表されている。	教職員には学内に会社の理念が記載された額を掲示しており、学外にはホームページで広く公表している。	HPは日本語のほか、一部の言語対応可能となっており、全世界に発信するためには、更なる他言語による発信が必須。	会社概要 ホームページ

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
ISIの理念・目的・育成人材像は職場内にも掲示しているほか、社員証とともに携帯しており職員が就業中も意識できるようになっている。また具体的なアクションのための「行動指針」もカードに記載されており、職員がISI理念を意識しながら業務を遂行できるようになっている。	HPではISIの理念などが主要言語で公表されているが、現在30か国以上の国籍の学生が在籍しているものの一部の言語には対応が追いついていない。また通常業務に追われ中期計画が遅れがちになるため、進捗管理の徹底が必要である。

最終更新日付

2017年3月31日

記載責任者

金 枝蓮

## 1-2 教育目標が明確に定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-2-1 学校の特色として挙げられるものがあるか	4	日本語の授業のみならず、授日本文化の理解を深められるカリキュラムを保持している。また、選択授業では就職クラスがあるのが大きな特徴となっている。	多様な進路希望に応える選択授業の中で、EJU、JLPT、会話、異文化交流、就職クラスなどのカリキュラムがある。	進学実績は一定の成果が得られているものの、カリキュラムの改定していく。	学校案内書 ホームページ

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
当校において、専門学校等の高等教育への進学希望者の数はほぼ横ばい状態であるものの、日本での就職希望者は年々増えている。日本で就業する際に障害となるのは語学力だけでなく、就職活動の流れの知識や社会人としての心構えの不足であることが浮き彫りになってきている。企業の求める人材と、学生とのギャップを埋めるため、刻々と変化する世界情勢に敏感であること、情報収集が必要となっている。また、日本国内に留まらず広く世界で活躍できるグローバル人材の育成に努めることで、一企業として社会貢献の一助となれるよう、研鑽していきたい。	日本語学校で学ぶ学生の学習目的は今後ますます多様化し、それに応えるカリキュラム、学習環境が求められる。学生の希望を詳細に調査し、能力を引き出す授業展開、学習環境の整備、講師陣の育成が急務であると考え。今後も引き続き、教具の電子化、カリキュラムの定期的な見直し、講師陣への段階的な研修を行い、学習環境、講師陣の育成を行う。また、グローバル人材を求める企業への働きかけを積極的に行い、就職支援体制を確立する。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

### 1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-3-1 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	5	時代の変化に合わせた中期計画を3年ごとに策定している。	時代の変化に合わせて3年ごとに中期計画を策定し、そこから戦略マップ・戦略目標・KPIそして個人目標へと落とし込んでいる。	特に外国人留学生の進路決定については年々変化をしており、その動きを敏感にキャッチし、募集活動に活かすスピード感が求められる。	『2015－2017年度中期計画』

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
本校のように多国籍留学生が多数在籍する各種学校は、3年と待たず毎年留学生の動向を正確に把握する必要がある。東日本大震災での原発事故による留学生数の激減、政治的な緊張関係、為替レート等様々な要因が重なり、それが募集状況に大きく影響を及ぼすので市場の生きた情報を素早くキャッチしなければならない。	2020年までに外国人留学生数を30万名にするという「留学生30万名計画」が2013年6月の閣議でも決定され、政府は教育のグローバル化に向けて本格的に施策を講じている。円安の追い風もあり、外国人留学生数は増える見込みである。その際質をどう担保するかが非常に重要な問題になる。無秩序な受入ではなく、本校の理念・学生育成像に沿った募集が肝要である。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

### 1-4 理念と教育目標が教職員、学生に周知されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-4-1 学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	5	幹部会議で承認された『2017年度事業計画』を職員には定例会議で、詳細に明示し伝えている。	会議で説明し、ファイルサーバーにも保存、いつでも閲覧、進捗確認ができるようにしている。	部署を超えてのシナジー効果をどう生み出すかが課題である。	『2015-2017 年度中期計画』

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
理念・目的・育成人材像が抽象的になるのを避けるため、9項目の行動指針を策定し具体的な実践をするようにしている。並びに中期計画では上記の理念等を普遍の原理とし、バランススコアカードに基づく戦略マップに落とし込み、戦略目標・数値目標・KPIを明確にし、一人一人の教職員がそれに沿った形で個人目標を半期ごとに立てるようにし、人事考課を行っている。	グローバルな日本語学校としての実態がある。そのため本校の理念・目的・育成人材像を日本語だけでなく、多言語でホームページ等を通じて全世界に向けて発信する仕組みづくりが肝要となっている。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------



## 基準 2 組織

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>組織体制については、設置代表者及び経営担当は基準要件に適合しており事業規模に応じた組織体制になっている。熟練した職員もいるが、同時に経験値は高くないが、熱意にあふれた職員も多い組織になっている。</p> <p>主な言語は対応できる語学スキルをもっている職員が揃っているため、学生とのコミュニケーションはスムーズに行われている。</p> <p>校長はじめ、職員の役職ごとに、責任と権限が明確に定められているため、しっかりした指示命令系統で学校が運営され、分掌と責任がステージごとに明確にされている。</p> <p>ただし、職員自体がその責務を完全に理解し業務を行っているか？という部分で認識があいまいな部分もみられる。</p> <p>また、生活指導責任者、入管事務担当者、入管申請取次者、防火防災管理者も配置し、然るべき届出、対応を滞りなく行っている。</p> <p>職員採用と育成については、日常的に非常勤講師の採用は行っているが、経験豊富な有資格者の採用にはこだわっている。また、育成については非定期ではあるが、必要に応じて、常に上のレベルを目指し各種研修会などを実施している。人事考課も常勤のみでなく非常勤講師に対してもしっかりと制定されており、それぞれが頑張れる体制となっている。</p>	<p>それぞれの職員の基準要件をきちんと備えてはいるが、それぞれが自分の権限の把握がきちんとされているか、また、上のステージになるための努力、上長からの指導が徹底されておらず、後追いとなっている。人事考課の仕方の勉強会を主任レベル以上では行っているが、一般職員まではしていないため、この辺りもしっかりと全職員が理解できるよう、指導することを考えた。</p> <p>新入社員が多いため、業務に熟知している職員が対応をしてしなければならない現状もあり、人材育成が急務である。</p> <p>職員一人ひとりの対応力を養えるよう指導をしていく。</p> <p>職員が高いモチベーションを持って勤務できるように環境を整えていく。</p> <p>学生が快適に安心して勉学できる環境作りの基盤を組織の中で築いていきたい。</p>

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

## 2-1 組織体制

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-1-1 設置代表者及び 経営担当は基準要件に 適合しているか	5	各種学校設置基準に適合し ている。	各種学校認可申請時に東京 都、入国管理局、日本語教育 振興協会へ基準要件に関す る資料を提出している。	特になし	各種学校認可申請資料
2-1-2 事業規模に応じ た組織体制になっているか	4	事業規模に応じた組織と人 員が配置されている。	業務分担表で業務が明確化 されている。ファイルサー バーに保存し、常に確認でき るようにしている。	業務分担の範囲をだけでは なく、より広く全体を把握し ていく。	人事組織図と業務分担 表
2-1-3 受入れする学生 の言語対応可能な組織 になっているか	5	中国・韓国・英語・ベトナム 語対応可能な職員が配置さ れている。	事務局常勤社員として勤務 している。	さらに多言語対応ができる ようにしていく。	人事組織図

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
本校の現状の規模には適した人員配置ができていて、主なる国籍の学生言語 対応も十分にできている。	外国人留学生を多数受け入れていることから、東京都の管理指針等の遵守も 求められている。当校はこれら指針等も遵守し、適正な運営をしているが、 法令・各種学校設置基準・東京都管理指針等の内容をきちんと教職員・学生 等に対して啓発活動を行う機会を設ける必要がある。まずは教職員に対する 啓発活動から取り組みたい。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

## 2-2 教員組織

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-2-1 校長、主任教員及び教員は基準要件を備えているか	5	法令や各種学校設置基準、東京都の指針等を遵守している。	前述のとおりである。	特になし	各種学校認可申請資料
2-2-2 校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限が明確に定められているか	5	就業規則、講師業務依頼通知書により、定められている。	前述のとおりである。	非常勤教員の職務改定を改定していく。	非常勤講師マニュアル 職務基準書 人事評価表 AFシステム
2-2-3 職務分掌と責任がステージごとに明確にされているか	5	職務分掌表で教職員一人一人の職務分掌が明確になっている。	職務分担表をファイルサーバーに保存し、常に確認できるようにしている。	特になし	職務基準書 評価基準書

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
学校法人立の各種学校として法令や各種学校設置基準、東京都の指針等が遵守され、適正な運営がなされている。	法務省から発表された新告知基準に基づき今後も遵守していく。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

## 2-3 事務組織

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-3-1 生活指導責任者、入管事務担当者等を含む各業務の担当者が特定され、その職務内容及び責任と権限、承認プロセスが明確に定められているか	5	明確に定められている。	業務分担表で明確にされている。	すべての業務が正・副担当で構成でされているので責任と権限をさらに明確にしていく。	業務分担表 業務マニュアル 電子申請承認ルート
2-3-2 各業務の担当者が学生及び教職員に周知されているか	4	周知されているが文書化されていない。	前述のとおりである。	新入生オリエン等で文書による周知を検討していく。	業務分担表
2-3-3 入管申請取次者、防火防災管理者を設置しているか	5	両者とも設置している。	入国管理局、目白消防署へ届出をしている。	特になし	防火防災管理者手帳
2-3-4 職務分掌と責任がステージごとに明確にされているか	5	評価基準によりステージごとに明確にされている。	前述のとおりである。	特になし	職務基準書 人事評価表

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
学校法人立の各種学校として、法令や各種学校設置基準、東京都の指針等が遵守され、適正な運営がなされている。	各業務の職務内容を可視化する作業を進めており、完成すればより職務内容が明確化される。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

## 2-4 採用と育成

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-4-1 教職員の採用制度は整備されているか	5	人員の異動に際し、規定の手順に従い募集、採用を行っている。	採用稟議、採用申請、雇用手続き等の手順が明確化されている。	急な欠員等にも対応できる適正な人員数の確保。より多くの媒体等で募集してく。	社内申請手順一覧
2-4-2 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	3	業界全体が人手不足の状態ではあるが、組織的に学校運営に必要な人材は確保できており、育成されている。	育成に関しては採用当初からマニュアル化、定例化されており、研修、OJTは進んでいる。	優秀な人材の確保、育成とその制度化をしていく。	人材育成計画（管理部）
2-4-3 人事評価制度は整備されているか	5	人事評価制度は整備されている	人事評価制度はグループウェアで社員はいつでも閲覧可能であり、定期的には内容の見直しをしている。	非常勤講師の人事評価制度の簡略化を進めていく。	人事評価規定 給与規定 非常勤講師報酬制度
2-4-4 昇進昇格制度は整備されているか	5	昇進昇格制度は整備されている。	昇進昇格制度はグループウェアで社員がいつでも閲覧可能であり、定期的には内容の見直しをしている。	同上	人事評価規定 給与規定 非常勤講師報酬制度
2-4-5 賃金制度は整備されているか	5	賃金制度は整備されている。	給与規定はグループウェアで社員がいつでも閲覧可能であり、定期的に見直しをしている。	同上	人事評価規定 給与規定 非常勤講師報酬制度

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
ISI グループの人事評価および賃金制度は労働基準法に遵守した制度となっており、十分整備されている。またグループウェアでも人事規定が閲覧可能となっており透明性がある。	非常勤講師の評価制度の一部見直しが必要なため、グループ校で改善点について協議が必要である。

最終更新日付

2017年3月31日

記載責任者

金 枝蓮

## 基準 3 財務

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>設置法人である学校法人 I S I 学園はもとより、本校においても、安定した学校運営により財務も安定している。</p> <p>毎年予算決算など予実乖離分析報告を計画的に実施しており、予算修正が必要な場合は迅速に対処している。また HP でも決算報告、監査報告書を公開している。</p>	<p>本校は在校生の卒業予想が困難な状況もあり、新入生の受け入れ枠の予測と安定した収支計画の妨げとなっているため、安定した運営のために、在校生の予想数の精度を上げる必要があると考える。</p>

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

### 3-1 財務状況

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-1-1 中長期的に学校の財務は安定しているといえるか	4	学校運営の財政の基盤は「学生の納付金・諸手数料」に因るため、学生数に影響されるものの、近年入学希望者は増えており、安定しているといえる。	代理店のみならず、窓口でも入学相談を受けており、大きく教室数の変動なく稼働している。	今後の安定した学校運営のために入学者の安定確保と正しい収支計画が課題である。	決算書
3-1-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	本校の予算及び収支計画については、毎年度において有効かつ妥当なものとなっている。	年度予算案の報告のほか、毎月予実乖離分析をしており、収支を明確に把握している。		予算案 予実乖離分析報告
3-1-3 財務について会計監査が適正に行われているか	4	会計監査は適正が行なわれている。	前述のとおり		会計監査報告書

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
本校の財務について会計監査は適正におこなわれており、会計監査を受ける側・実施する側の責任体制も明確であり、監査の実施スケジュールも妥当なものである	特になし。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

## 基準 4 教育環境

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>本校の教育環境の最大の長所は、明るく清潔で解放感ある校舎と、教室に設置している電子黒板の導入があげられる。7階の学生ラウンジには、総勢 70 名使用できる開放的な空間とカフェを設置し、学生が食事をしたり、自習するスペースを提供している。授業においては、電子黒板、書画カメラ等の使用を積極的に促し、ノートパソコンやタブレット等を活用した視覚効果の高い授業を提供することで、学生の理解度もあがり、全体的な満足度向上につながっている。</p> <p>今後も教育の ICT 化を積極的に進め、学生の満足度向上に努めたい。</p> <p>一方で施設・設備については築 35 年を越えたこともあり、一部老朽化に伴う修正を必要としている。日常的にメンテナンスをする常勤管財スタッフがいないため、施設・設備のメンテナンスが後手後手に回っていることは否めない。</p> <p>防災に関する対応としては十分な対策が取れているとは言えない。目白警察署との連携の下、避難訓練や防災講話等に着手し始めたが、今後防災に対する組織体制を整備していく必要がある。</p>	<p>学園としても教育の ICT 化を最重要課題に位置づけ、本校も教室での電子黒板の導入など、先進的な教育環境整備に努めてきた。この環境を最大限に発揮するために授業を担当する教員・講師がいかんして有効に活用するか全体研修を行うなどの課題はある。</p> <p>防災についてはまだまだ不十分な点が多いが、地元の警察署と連携しながら校内の防災体制整備に力を入れていきたい。</p>

最終更新日付	2017 年 3 月 31 日	記載責任者	金 枝蓮
--------	-----------------	-------	------



#### 4-1 校地・校舎

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-1-1 教育機関として適切な位置環境にあるか	5	教育機関として適切な位置環境である。	池袋駅から徒歩5分の距離に位置している。	電子黒板を十二分に活用するために教員・講師向けに研修を行い、授業の質を向上させる取り組みが今後必要である。	HP 学校パンフレット
4-1-2 安定的に教育活動を継続するための校地校舎が整備されているか	3	校地校舎は整備されている。	法定点検、日常メンテナンス共に体制は整備されている。	日常メンテナンスに関しては随時対応とせず、纏めて対応していく等、負荷・経費削減のために計画を立案し、実行する。	HP 学校パンフレット
4-1-3 校舎面積は基準に適合しているか	3	校舎面積は基準にしている。	法令や各種学校設置基準、東京都の指針等が遵守されている。	特になし	校舎図面
4-1-4 防災に対する体制は整備されているか	3	防災に対する体制は、整備されている。	防災体制は（体制図、避難経路、備蓄等）年1回避難訓練を実施することにより有用性を高めている。	整備された防災体制を有事の際に活かす為にも、実践に即した訓練を行い、PDCAサイクルを着実に回していく。	特になし

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
校地・校舎は入国管理局の基準に適合しており、位置環境も含め教育環境はかなり進んでいるといえる。また防災に関しても避難訓練実施や備蓄管理など総合的に体制管理できている。	施設・設備の更新やメンテナンス管理のための管財担当が常駐していないため、修繕・交換などが現場で判断・処理できないことが対応の遅れに影響している。

最終更新日付

2017年3月31日

記載責任者

金 枝蓮

## 4-2 施設・設備

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-2-1 教室・その他施設は基準に適合しているか	5	日振協及び東京都の基準に適合している。	法令や各種学校設置基準、東京都の指針等に適合している。	施設の定期的な点検を実施する必要がある。	日振協・東京都提出書類
4-2-2 教室内は十分な照度があり換気がなされているか	5	照度、換気共に問題はない。	すべての教室に窓と換気扇があり、十分な対応がなされている。	照明器具、換気設備の定期点検を行うことで、さらなる環境の問題の早期発見に備える。	校舎図面
4-2-3 すべての教室は、教育上必要な遮音性が確保されているか	5	確保されている。	すべての教室を二重窓にして遮音性が確保されている。	二重窓にしているものの、校舎裏の電車の通る音は上の階で少し聞こえるため聞き取りテストではボリュームに留意している。	特になし。
4-2-4 授業時間外に自習できるスペースが十分確保されているか	4	確保されている。	7Fに自習室があり、専門学校生との共有スペースで日本人との交流も可能である。		校舎図面
4-2-5 教育、学生数に応じた図書やメディアが整備され、利用できる環境になっているか	4	図書は基準を満たしている。学生用PC、wi-fi環境、コピー機が整備されている。	図書：日振協の基準冊数を満たしている。 学生用PC：6台 wi-fi環境：全校舎	学生数に応じ、さらに数の確保と環境の整備が必要。また図書は貸し出し制度を今後検討していく必要あり。	日本語教育関係図書の蔵書目録
4-2-6 視聴覚教材やICT教育の設備が整備されているか	4	授業用PC、電子黒板、プロジェクター、書画カメラ、テレビ、DVDが整備されている。	電子黒板：4台 書画カメラ：2台 テレビ：10台 DVD：5台	学生数に応じ、さらに整備が必要。	ICT設備リスト
4-2-7 教職員の執務に必要なスペースは確保されているか	4	教職員の執務に必要なスペースが確保されていると判断している。	教職員室が2箇所設置されており、出勤人数分のスペースが確保されている。	教職員の増員に応じ、什器の配置、収納スペースの確保等で、さらにスペースを確保。	校舎図面

4-2-8 学生数に応じたトイレが設置されているか	4	建物の基準に応じたトイレは設置されており、学生数に応じて適切な数が設置されている。	前述のとおりである。	特になし	校舎図面
4-2-9 法令上必要な設備等が備えられているか	5	日振協、東京都の現地審査に合格しているため、適合していると判断している。	法令や各種学校設置基準、東京都の指針等に適合している。	常に法令と照らし合わせ、確認する必要がある。	校舎図面
4-2-10 廊下、階段等は、緊急時に危険のない形上であるか	5	日振協の現地審査に合格しているため、適合していると判断している。	日振協の現地審査に合格している。また、組織内に衛生委員会があり、建物内の危険箇所を確認し合う機会を設けている。	定期点検や避難訓練を通じ、危険な箇所を継続的に確認する必要がある。	日振協提出書類 校舎図面
4-2-11 バリアフリー対策が施されているか	5	バリアフリー対策が施されている。	エレベーター・スロープ、フルフラット仕様が整備されている。	車いす専用トイレは1Fのみの設置で学生の受け入れ状況から増設を検討する。	校舎図面
4-2-12 校内の清掃状況は管理が行き届いているか	4	校内の清掃状況は管理が行き届いている。	委託の清掃業者が毎日清掃を行っており、年2回の学生満足度アンケートで高評価を得ている。	細部の清掃（窓のサッシや電球等）は日常的にカバーしきれていないため今後の課題ではある。	学生満足度アンケート結果 清掃業者との契約書

総括	課題及び改善内容
施設・設備は日振協・東京都の基準に合格しており、教育上の必要性に対応している。施設・整備のメンテナンスは外部業者に委託し、定期的に行っている。また、ICT対応の教育機器の整備も進めているが、Wifi環境の整備には課題が多い。校内は、図書室、自習室、保健室、PCルーム、学生ラウンジ、ロビー、カフェなど充実した設備整えている。	建物の老朽化箇所やエレベーターの老朽化に伴う対応は随時修繕していく必要がある。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

## 基準 5 安全・危機管理

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>本校は留学生が安心して日本語学習に取り組めるよう、危機管理の見直しを重ねてきた。</p> <p>特に、2013年の東日本大震災後、災害時の危機管理に関しては、行政の方針・指導のもと整備・強化している。学生の健康保険加入の指導や結核発生時の対応などマニュアル化されている。</p> <p>本校は4期制のため、年1回の避難訓練では不十分との声も現場から出ていることを受け、オプションイベントとして池袋消防署内の「防災館」見学を実施しており外国人にも防災意識を高めてもらおうと取り組んでいる。</p> <p>他にも危機管理に対する心構えを職員や学生に周知徹底するべく、災害を想定した避難訓練や職員のAED講習も毎年実施している。防災用品の備蓄も更新を行ったばかりである。</p> <p>危機管理には「人の安全」だけでなく「情報データの安全」も含まれているため、今後被災時の情報管理にも整備が必要であり、本社からの指示のもと、災害時の事業継続対応の計画を進めている。</p>	<p>当校は320名の在籍者を持つ専門学校と校舎を共有しているため、在籍する学生総数は600名を超える規模となり外国人留学生と50名を超える職員が平日勤務しているため、非常時の対策・対応の時間にスピードが求められる。</p> <p>自然災害時の休校の判断基準・伝達の方法がグループ校や学校の規模で異なり、統一されていないため、平準化あるいは学校長の権限の明確化が課題になっている。</p> <p>本校では外国人留学生の増加に伴い「結核発症者あるいは保菌者」も出ているため、伝染予防対策が急務である。保健所などの行政と東京結核予防会や医療機関など民間団体と連携して学生が健全な留学生活が送れるよう、予防対策を講じる必要がある。</p> <p>国の医療サポートとして国民健康保険加入が留学生にも義務付けられているが、「自分は健康だから大丈夫」と過信する外国人も多く、実際に高額治療が発生した事例などを用いて必要性について理解させ、加入・保険費納付を促すことが重要である。</p>

最終更新日付

2017年3月31日

記載責任者

金 枝蓮

## 5-1 健康・衛生

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-1-1 学生の健康管理を担う組織体制があり、機能しているか	4	年1回結核検診を行っており機能している。校内には救急ボックス、AED 設備が備えられている。	前述の通りである。	2017 年度から新入生を対象に、結核検診を年4回検診していく。	特になし。
5-1-2 学生全員が適切な健康保険に加入しているか	4	留学ビザ保有者は全員国保に加入させている。	入学時に国民健康保険証をコピーし、未加入者に加入するよう指導を行っている。	国内での事故では怪我の治療費だけでなく賠償責任も発生するケースがあるため、国保でカバーできない保険の加入も検討中。	国民健康保険証のコピー
5-1-3 感染症発生時の措置を定めているか	3	結核など法定伝染病が発生した場合の対応については、連携が必要な関係機関の連絡先や報告書が文書化されている。	3大感染症に加え、結核検診結果次第では、自宅待機、治療を受けさせている。	現在マニュアルを作成中。	マニュアル（作成中）

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
毎年定期的に健康診断を実施しており健康管理の体制は整っているものの、公的機関に依存した健診であり、校内実施のものは補助的なものにとどまっている。国民健康保険の加入は義務づけているが、傷害保険・損害保険などの加入は任意であるため、総括的な支援体制には至っていない。	近年、身体的な問題を抱える学生よりメンタル面のサポートが必要な留学生が急増していることを考えると、今後心理カウンセラーの資格を有する人材雇用を検討すべきである。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

## 5-2 危機管理

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-2-1 危機管理体制が整備されている	3	危機管理体制は整備されつつある。	避難訓練の実施（年1回） AED 訓練の実施（年1回） 防災館見学の実施（年数回）	学生数職員数に対して実施回数が少ない。複数回実施するなど検討の余地がある。	避難訓練マニュアル 災害対策携帯カード
5-2-2 火災・地震・台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所を定めているか	4	避難方法・避難経路・避難場所は定められている。	年に1回の避難訓練の際に避難方法や経路、避難場所について確認している。	4期制のため、年1度の避難訓練では十分とは言えず、訓練後入学の学生へのフォローが必須。	避難訓練マニュアル
5-2-3 気象警報が発令された場合の措置を空定めているか	3	その時の気象状況に応じて校長が判断。	前述のとおり	○時時点での警報によって開校休校を決定するなど明確な指標を定めるかどうか課題。またその告知方法。	職員緊急連絡網
5-2-4 災害等に対する避難訓練を定期的に行っているか	5	年に一度、管轄の警察署・消防署・区役所・公園事務所の協力で避難訓練及び消火活動体験を実施している。	前述のとおり	実際の災害にどこまで沿った内容で避難訓練を計画するかが課題。	避難訓練マニュアル 実施報告
5-2-5 防災用品が備蓄されているか	5	避難時のヘルメット・脱出用工具・ラジオのほか、災害用の備蓄（水・食料・防寒具）を校内に格納してある。	前述のとおり	期限がくる食品などの処分方法。	防災用品購入リスト 備蓄リスト

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
防火防災計画、事業計画がたてられていて、避難訓練を全職員・全学生で年1回実施している。防災用品も学生の人数に見合った数を取り揃えて、非常時に備えている。	日本語が未熟な学生も多いので、なかなかスムーズに行動することが難しいこともある。非常時に行動できるように、HPやFacebookにも各言語で案内できるよう務めている。

最終更新日付	2017年4月17日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

## 基準 6 法令の順守等

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>法令の遵守においては、学校法人、グループ全体としても非常に意識をしている部分である。</p> <p>本校は 2002 年に日本語教育振興協会に認可を得て開校以来、「適正な設置基準及び学校運営がされている」と定期的な実地検査でも認められている。個人情報の取り扱いに関しては、ISI グループ全体の重要方針として、「個人情報を適切に取り扱い、保護することが極めて重要である」と深く認識している。</p> <p>そのため、重要書類の保管方法を職員に厳守させ、不要な文書はシュレッダーを利用、定期的な保管文書整理では溶解処分を業者に委託しており徹底した個人情報保護に努めている。</p> <p>また入学時に「個人情報取り扱いに関する同意書」を学生に署名してもらい、学校の学生情報の取り扱いの対策を講じている。</p> <p>自己点検・自己評価に関しては、日本語教育機関の学校評価が義務化されたこともあり、今年度初めての試みである。学校運営を担う立場として今まで着手できなかったことは猛省すべき点である。</p> <p>日ごろの業務・方針などを改めて点検・評価することで課題が浮き彫りになり、ひいては本校の発展につながるものであることを肝に銘じ、今後も真摯に取り組んでいきたい。</p>	<p>個人情報の保護に関しては、対策もさることながら、職員の意識づけが肝要であり、新入社員研修では強化すべき項目と考える。</p> <p>また、学生数の増加により取り扱い方法や保管方法が粗雑になりがちなため、定期的な啓発活動と同時に不定期なチェック体制を導入すべきと考える。現在 SL(スクールリーダー)に膨大な学生の情報がデータ管理されているが、閲覧権限の設定はあるものの、セキュリティ管理の強化が求められる。</p>

最終更新日付	2017 年 3 月 31 日	記載責任者	金 枝蓮
--------	-----------------	-------	------

## 6-1 法令の順守

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-1-1 法令、設置基準等の順守と適性な運営がされているか	5	法令、設置基準等の順守と適正な運営がされている。	日振協や東京入管の審査基準を遵守しており、検査も通っている。	新基準に適合しているか見直しが必要。	特になし
6-1-2 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	3	個人情報保護のための対策は行っているが、不十分な部分もある。	不要な文書はシュレッダーや溶解処分を実施。学籍簿等は全て扉付きキャビネットや金庫にて保管。	扉に鍵を付ける等より厳重な管理を行うことも検討。	特になし
6-1-3 入管・日振協・関係官庁への届け出、報告を滞りなく行っているか	5	届出、報告は滞りなく実施されている。	前述のとおり	特になし	受入の開始、終了報告など（入管） 定期報告など（日振協）
6-1-4 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	2	2年前から自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めてきたが、問題点の洗い出しに留まっており、改善が遅れている。	前述のとおり	自己点検の継続と今後は問題点の改善にも努める。	特になし
6-1-5 自己点検・自己評価の結果は公開しているか	1	2015年度までは公開していない。	前述のとおり	2016年度からHP公開のために内容整備をする。	特になし

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
学校法人立の各種学校として当然のことながら、法令や専修学校設置基準、東京都の指針等が遵守され、適正な運営がなされている。個人情報保護に関する取り組みは学校法人 ISI 学園としても明確に規定を定め、その対策に常に取り組んでいる。当校としては学園の方針、規定に沿って学校が保有する個人情報保護に努めている。ただ教職員によって意識差があり、総体的に意識向上させるための定期的な啓発活動がこれからの課題である。	外国人留学生を多数受け入れていることから、東京都の管理指針等の遵守も求められている。当校はこれら指針も遵守し、適正な運営をしている。外国人留学生が多数在籍する本校としては、パスポート・在留カード等の外国人留学生の在留に関する個人情報もきちんと保護しなければならない。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------



## 第2 運営に関する事項

### 基準7 運営全般

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>基準1「教育理念・目標」の項目でも述べているとおり、本校はISI グループの一員として中長期の運営方針と経営目標が経営者より提示された後、日本語学校としての運営方針や事業計画を年度初めに発表している。そのための管理運営の諸規定や意思決定システムは整備されており、予算も管理運営されている。</p> <p>とはいえ、社会的な動向や国の政策方針などで学生数も流動的に変化する業界であるため、短期・中期のビジョンの見直しや業務改善を定期的に取り組みながら学校を運営する必要がある。また膨大なデータ情報の管理システムを更新し効率的に学校運営を図らなければならない。</p> <p>納付金に関しては、学生に配布する学則、代理店に配布する募集要項に記載されており、納付期日についても、入学時のオリエンテーションでの説明と年間スケジュールに載せており、学生が経費支弁者に期日について説明できるようになっている。納付期日一週間前には事務局員が納付予定を学生の個別に対応し管理をしている。</p> <p>学費返金規定も関係諸法令に基づき、学則に記載されているとおりに対応に当たっている。</p> <p>グループウェアの有効活用で情報共有は効率的にできており、外部主催の研修にも参加して入管や行政関連の最新情報を入手するようにしている。</p> <p>入学希望者や在籍者に対する情報発信ではHP、パンフレットのほか、言語対応可能なスタッフが常駐している。</p>	<p>2002年の開校以来、増員、移転を経て成長し、今後も成長を続けるためには堅固な基盤とシステム化が不可欠である。教職員が増え、担当セクションが細分化すると意思決定システムも複雑になり、対応の遅れに繋がり、ひいては事故になることも踏まえ、効率的な運営の仕組みを講じなければならない。</p> <p>また組織の中では、単独作業の場合に人的ミスや課題に気づかないまま業務が行われてしまうこともあり、適正な運営維持のためのチェック機能の見直しと管理体制強化の施策を講じなければならない。</p> <p>今年はHPのリニューアルや各言語別のパンフレットの改定など、入学希望者への学校アピールにも力を注いでいるが、まだ十分とはいえなため、今後も企画広報と連携しニーズに応える情報発信を続けていきたい。</p>

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

## 7-1 組織的な運営

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-1-1 短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されているか	4	短期及び中長期の運営方針と経営目標は毎年明確化され、教職員に周知されている。	中長期に関しては、年度初めに戦略 MAP で明確にし、短期方針に関しては、毎月主任会議で明確にしたものを全体会議で共有している。	特になし	中期ビジョン 戦略 MAP 中期 BSC KPI
7-1-2 管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営がなされているか	3	管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営がなされている。	前述のとおり	学校規模の拡大後も規定が更新されておらず現状に適合していないルールが問題となっているため、改善が肝要である。	グループ諸規定集
7-1-3 意思決定システムは確立されているか	4	意思決定システムは確立されている。	毎週開催の定例会議のほか、主任会議等で重要事項を協議し、校長の承認を得るというシステムがある。	緊急時などの意思決定のスピード化が必要である。	承認ルート表
7-1-4 予算編成が適切になされ、執行ルールが明確であるか	4	予算編成が適切になされ、執行ルールが明確である。	年度初めに予算表を各学校で提出し本社及び会計事務所で確認している。毎月の入出金なども稟議申請で管理している。	特になし	予算表
7-1-5 業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われているか	3	業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われている。	毎学期業務分担を含め、内容の見直し・効率化を行なっている。	大規模化対応のシステム強化と管理体制の文書化が必要である。	特になし
7-1-6 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	情報システム化等による業務の効率化が図られている。	SL やグループウェアの他に勤務管理システムなど様々なシステムを学校業務に活用している。	大規模化対応のシステム強化、SL の機能限界に伴い、クラウド型の管理システム構築を進める。	特になし

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
<p>毎月主任レベルの会議を開催し情報共有、問題の早期解決に努めている。  <b>ISI</b> グループでも、毎月日本語学校責任者及び本社幹部と「運営会議」を開催しており、運営状況の報告や相談案件について討議しており、組織的な学校運営をしている。</p>	<p>学生のニーズの多様化や、対応の複雑化に伴い、適正な情報管理及び適正な業務プロセスの標準化、見える化は急務である。  また諸規定は整備されているが、更新しなければならない項目の少なくない。</p>

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

## 7-2 納付金

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-2-1 検定料、入学金、授業料及びその他納付金の金額及び納付期日が明示されているか	5	納付金額は学則、HP、募集要項に、納付期日は年間スケジュールに明示されている。	前述のとおり	特になし	学則 HP 募集要項 年間スケジュール
7-2-2 学費以外に入学後必ず必要になる費用が明示されているか	5	学費以外に必ず必要になる費用は明示されている。	証明書代金は証明書発行依頼書に明記されている。 ビザ更新時に必要な印紙代は在留期間更新許可申請に必要な書類のお知らせに明記されている。	特になし	証明書発行依頼書 在留期間更新許可申請に必要な書類のお知らせ
7-2-3 関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されているか	5	関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されている。	学則に返金規定が明記されている。	特になし	学則 募集要項

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
学費等、学校で必要な費用は明示されており、返金規定も学則や募集要項に明示されている。	返金規定は新たに学則に明示されるようになったが、職員の解釈に誤解が生じないように様々なケースでの返金を想定し、的確に学生に説明ができるようにする必要がある。また、学生からのニーズも多い学費のカード払いも今後検討していきたい。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

### 7-3 情報の共有化及び発信

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-3-1 外部の情報を積極的に入手し経営に生かす仕組みがあるか	5	外部の情報を積極的に入手し経営に生かす仕組みがある	日振協など外部団体の維持会員となり会報などで情報を入手して業務に反映させている。	特になし	特になし
7-3-2 内部の情報共有を効率的に行う仕組みがあるか	4	内部の情報共有を効率的に行う仕組みがある	グループウェアでの情報共有に加え、毎週事務局会議・教務会議を開催している。緊急性の事案はスカイプやメールで共有している。	特になし	会議議事録
7-3-3 入学希望者・在籍者及び関係者が理解できる言語で、適切に情報提供をおこなっているか	4	入学希望者・在籍者及び関係者が理解できる言語で、適切に情報提供をおこなっている	中国語・韓国語・英語・ベトナム語対応可能なスタッフが事務局に常駐している。また本社にはスペイン語・ロシア語対応の職員もいる。HPも各主要言語に対応している	一部の言語（トルコ・ウズベキスタン・モンゴルなど）の対応が必要	職員名簿 HP パンフレット

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
グループウェアの有効活用で情報共有は効率的にできている。また、JaLSAや日振協などの研修・懇話会にも出来る限り出席し入管や行政関連の新情報を入手するようにしている。 入学希望者や在籍者に対する情報発信ではHP、パンフレットのほか、言語対応可能なスタッフが常駐している。	情報発信に関しては、主要言語は十分対応できているものの、英語や日本語が理解できない一部の少数言語の対応も必要になっている。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

## 基準 8 学生募集

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>中国(大連)に直営事務所を開設し、東京には独自の入学受付の部署を持ち、東京と大連を拠点に入学選考を一括して行っている。入学希望者から提出された書類は、入学相談センターで一括して審査し、手続きを行っている。教育機関や留学紹介機関は信頼できる機関を厳選しており、代理店契約締結後に学生の受入れを開始している。</p> <p>学生受入れにあたっては、就学理由、日本語学習歴、日本語能力、経費支弁能力と学校の運営基準に照らし合わせ、教育理念を理解し、勉学意欲が強く、日本語学習に対して明確な目標を持つ学生を分け隔てなく世界の様々な国・地域から受け入れている。</p> <p>常に教育の質的向上を図り、学生の満足度を高めるためには、当校の教育理念を理解し、学習意欲や目的意識が高い学生を募集することが非常に重要であると認識している。</p> <p>他を寄せ付けない圧倒的な実績を上げることで本校のファン層を作り、安定した入学者数を毎年確保するために職員一丸となって日夜奮闘している。</p> <p>今後の課題としては、卒業生の活躍が募集にどう貢献したか客観的に測る尺度を持ち、経年対比ができる仕組みを作ることである。</p>	<p>学習者のニーズは年々多様化しており、目的にあった最適な教育環境提供のためには、コースごとの受入れ方針などの設定を検討する必要があると認識している。</p> <p>また、近年では早期の修了者やコース満了予定者が延長を希望する場合もあり、在籍人数の予測が年々難しくなっている。担当者は在籍数をリスト化し、入学希望者の募集のタイミングで最新の情報に更新し、適切な時期にミーティングで共有をしながら、総合的な在籍者数の管理をすることにより、募集定員の範囲内で安定的な募集活動を行っていく。</p> <p>学生募集では、独自の部署を持つことや、海外の募集拠点によって、実際に起きている教育現場の実態や学生のニーズの変化に遅れることなく、タイムリーに対応していかなくてはならない。募集担当者は常に最新の学校情報の把握に努め、コースやカリキュラムの深い内容理解まで、教職員のコミュニケーションを密に連携していく必要がある。</p>

最終更新日付

2017年3月31日

記載責任者

金 枝蓮

## 8-1 募集方針

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-1-1 理念・教育目標に沿った学生の受入れ方針を定め、年間募集計画を策定しているか	4	多国籍の学習環境提供の方針のもと、国籍バランスを考慮しながらエリアと国別の計画を策定している。	前述のとおり	学習者のニーズの多様化に対応し、目的にあった最適な教育環境提供のためには、コースごとの受入れ方針などの設定を検討する必要がある。	事業計画 営業アクションプラン
8-1-2 募集定員の範囲で募集活動を行っているか	4	定員は関連法規に従い、適正に設定されており、その範囲内で募集活動を行っている。  在校生の修了者予測を入学期ごとに国別に設定し、募集人数を調整している。	「日本語学校教育施設在籍者数等現況報告書」にて実証済み。  入学者数	早期修了者やコース満了予定者が延長を希望する場合があります、在籍人数の予測が年々難しくなっている。 担当者は在籍数をリスト化し、入学希望者の募集のタイミングで最新の情報に更新し、適切な時期にミーティングで共有をしながら、総合的な在籍者数の管理が必要である。	事業計画 在校生定員予測  日本語学校教育施設在籍者数等現況報告書
8-1-3 募集担当職員は、学校の情報を正しく認識した上で、入学相談を行っているか	4	定期的な勉強会を開催し、新プログラムやコース内容の勉強会を実施している。	ファイルサーバー内 学校共有情報のまとめ	教育現場や学生ニーズの変化に対応するべく、募集担当者は常に最新の学校情報の把握に努め、コースやカリキュラムの内容理解まで更なる勉強会が必要である。	学則、募集要項、 学校案内パンフレット他

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
年間募集計画を策定し、定員の範囲内で募集活動を行っている。	受入れ方針の検討や在籍者数の管理が必要で、正しい情報を提供するには、定期的な情報共有や更なる細かいコミュニケーションをとっていく。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

## 8-2 募集活動

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-2-1 教育内容・教育成果を含む、最新かつ正確な学校情報が入学希望者の理解できる言語が開示されているか	4	正確な情報を多言語で開示している。(英語・簡体字・繁体字・西語・韓国語・露語等)パンフレットにより、モンゴル語、インドネシア語・タイ語で開示している。	学校ホームページ 募集要項 学校案内パンフレット	教育成果の公表は、主に出口実績のみの公表となっているため、今後はさらなる情報開示を検討していきたい。	学校ホームページ 募集要項 学校案内パンフレット
8-2-2 求める学生像を明示しているか	2	入学選考の段階では勉学意欲や目的等を確認するが、求める学生像の明示は曖昧な点がある。	カリキュラムに学生像の設定を行っていない。	コースごとに育成する人材像を明確にし、求める学生像をホームページなどでも明示していきたい。	
8-2-3 応募資格及び条件を、入学希望者の理解できる言語で明示しているか	3	募集要項にて、各言語で明示している。	募集要項	主要言語では明記しているが、その他の言語では丁寧な説明が必要である。	募集要項
8-2-4 募集活動を行う国・地域の法令を順守した募集活動を行っているか	4	企業理念に則り、法令遵守を徹底している。	代理店契約書の内容を説明し、適正な募集活動を遂行していただいている。	海外の代理店が当校をどのように紹介しているか、詳細の確認をしきれてない国もあり、そのあたりの今後の徹底は課題である。	代理店契約書



8-2-5 海外の代理店等に、最新かつ正確な情報提供を行っているか	3	最新情報はホームページやパンフレットやチラシによって提供し、定期的な出張訪問やSkype によって直接説明を行っている。	学校ホームページ 募集要項 学校案内パンフレット	情報が古いままや、間違った情報が流出しないよう定期的に代理店を訪問、説明し、ホームページや営業資料を確認していく必要がある。	学校ホームページ 募集要項 学校案内パンフレット
8-2-6 海外の代理店等の行う募集活動が、適切に行われていることを把握しているか	3	新規エリアや全代理店の募集活動の把握は難しい。	出張計画（出張報告・訪問記録）	定期訪問と担当者との密なコミュニケーションにより把握していく。	出張報告書

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
<p>学生受入れにあたっては、就学理由、日本語学習歴、日本語能力、経費支弁能力と学校の運営基準に照らし合わせ、教育理念を理解し、勉学意欲が強く、日本語学習に対して明確な目標を持つ学生を分け隔てなく世界の様々な国・地域から受け入れている。</p> <p>中国(大連)に直営事務所を開設し、東京には独自の部署を持ち、東京と大連を拠点に入学選考を一括して行っている。入学希望者から提出された書類は、入学相談センターで一括して審査し、手続きを行っている。教育機関や留学紹介機関は信頼できる機関を厳選しており、代理店契約締結後に学生の受入れを開始している。</p> <p>入学希望者に配布する募集要項では入学条件を明記しており、ホームページでは学校の教育成果、留学している学生のリアルな姿として、在校生の成長の過程や卒業生の進路や活躍を学内に掲示し、またWebサイトやSNSで発信することで、国内はもちろん、海外からでも十分に学校生活をイメージでき、入学後のミスマッチが起こらないように心がけている。</p>	<p>8-2-2: 求める学生像はホームページなどでも明確に明示することで、適切な学生の受入れを行うことが出来る。</p> <p>8-2-3: 受入れ学生の主要言語では情報を明示しているが、その他の言語では誤解がないよう丁寧な説明が必要である。</p> <p>8-2-6: 海外の代理店や教育機関の取引数が多いため、全ての情報の確認が難しいのが現実的にある。情報が古いままであったり、間違った情報が流出しないよう、定期的に代理店に説明し、代理店のホームページや営業資料を確認していく必要がある。</p>

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

### 8-3 入学選考

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-3-1 入学選考基準及び方法が明示されているか	5	選考基準を募集要項で明記している。	前述の通り	国・エリアにより選考基準が公平とは言い難い。	募集要項 ホームページ
8-3-2 学生情報を正確に把握し、提出書類により信憑性の確認を行っているか	4	共有のファイルサーバーに入学選考に関するデータベースを保存し、提出書類は複数のスタッフで母国語も含め確認を行っている。	前述の通り	対応できない言語では日本語の翻訳の添付をつけさせ、現地での公証をさせている。	事実確認書
8-3-3 入学選考を行う体制が整備されているか	5	入学希望者とは母国語または英語にて、専属スタッフが入学選考を行っている。	前述の通り	日本での大学進学資格に必要な12年教育制度ではない国からの希望者には準備教育が提供できない	面接シート
8-3-4 受け入れるコースの教育内容が、志願者の学習ニーズと合致することを確認しているか	4	各種媒体における就職、資格取得等の教育成果に関する情報公開は、まだ不足していると思われる。	前述の通り	就職、資格取得等の教育成果に関する情報の媒体別掲載内容、情報量などの適正な取り扱いについて、社会情勢、環境を考慮して検討する。	HP 就学理由書 面接シート

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
<p>学生選考は現地に赴いての直接面接やSkypeを用いた面接を行い、学校の基準にのっとり必ず学校職員が行っている。これら面接の結果と提出された申請書類から総合的に入学選考をするため、学生の目的意識を第一に、支弁能力、勉学意欲を中心に基準を設けている。その後も現地と密に連絡・訪問を繰り返し、安心して入学できるようサポートを継続している。特に中国には現地事務所を置き、より綿密に入学希望者、保護者とコミュニケーションができるようにしている。また共有のサーバーに入学選考に関するデータを保存し、入学選考に関する情報を正確に把握している。</p>	<p>特に東京では入学希望者が多いため、入学選考には細心の注意を払っている。書類審査では経費支弁能力があるかどうか厳格に審査し、筆記試験では授業についていける学力があるかどうか適正かつ公平な基準で選考している。面接では志望理由が明確かどうか、願書や履歴書など記載内容お相違がないかを確認し、書類の信憑性と希望者本人の勉学意欲両方をみている。不法滞在や不法残留を多く発生させている国については、特に厳格な選考基準を設け、質の高い学生の確保に努めている。</p>

最終更新日付

2017年3月31日

記載責任者

金 枝蓮

## 基準 9 教育活動

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>ISI 学園の教育理念、本校の教育方針のキーワードはグローバルであり、「国際力」、「専門力」、「人間力」の三つの力を伸ばすことをその根底に置いている。</p> <p>この三つの力を身につけるカリキュラムを体系的に編成することを目指し、今年度は見直しを図ってきた。現在のカリキュラムが、学生の進路希望やレベルにおいて適正な位置づけをなされているか検証し、改善を行うためのカリキュラム会議を実施し始めた。学生のニーズにより応えたカリキュラムを編成を行うこと、社会に求められる人材の育成を目的としている。</p> <p>授業評価の実施や評価体制はグループ全体で取り組んでおり、6月と12月に授業内容や授業を行う講師、学校生活に関することなどのアンケートを行っている。このアンケート結果をもとに、育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員の確保に努めている。もちろんその際にはただ単に優秀な教員を確保するのではなく、学校法人 ISI 学園並びに本校の教育理念、教育方針に共感していただき、さらに自ら研鑽していける教員を確保するように気を付けている。</p> <p>日本語能力試験 N1、N2 合格に向けたカリキュラムはもちろんではあるが、日本社会に受け入れられる習慣や知識を身につけられるカリキュラムを編成している。普段の教育活動は学校の肝となるため、常に点検・検証を行い教育の質的向上を図れるよう教務が中心となって非常勤講師をまとめ、また、お互いにコミュニケーションを密にし、さらには高め合えるような機会を作るべく、模索検討を重ねている。</p>	<p>各項目で後述するように、学生の進路希望、国籍比率、学習レベルは多様化を強め、それに応えられるカリキュラムの策定は急務となっている。またさらには、社会情勢の変化や、求められる人材像に柔軟に、迅速に対応できる教師の育成、教材の選定も不可欠である。</p> <p>ISI 外語カレッジを卒業した学生にどのようになってほしいのか。学生個人の希望をかなえることが第一目標ではあるが、グローバル人材として、将来どのように社会に貢献してほしいのか、具体的な人物像を描き、その理想の人物像をすべての教師が共有し、一つの目標に向かって取り組んでいける環境づくりをはじめとして、教師の認識の統一、教授レベルの引き上げが課題となる。</p> <p>未習者から超級までの体系的なカリキュラムと、それに適した教材の選定、その使用方法と教授法を熟知した教師の育成、それぞれ合致してこそ、学校の教育計画の実現ができると考える。</p> <p>古い観念に固執することなく、現代の社会情勢に敏感に対応し、知識としてだけでなく、より実践的で即戦力となるようなグローバル人材の育成を目指したい。</p>

最終更新日付

2017年3月31日

記載責任者

金 枝蓮

## 9-1 教育計画

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-1-1 理念・教育目標に合致したコース設定が行われているか	5	理念・教育目標に合致したコース設定が行われている。	会社の理念に則り、グローバル人材育成のためのコース設定がされている。	学生のニーズの変化に合わせて、コースの見直しを定期的に行う必要がある。	学校案内パンフレット ホームページ
9-1-2 教育目標達成に向けた教育内容、教育方法及び進度設計がなされているか	4	教育目標達成に向けた教育内容、教育方法及び進度設計がなされている。	学生のニーズに応じたコース設定とレベルに応じた 40 以上のクラス設定がなされている。	学生のニーズの変化に合わせて、教育内容の見直しを定期的に行う必要がある。	学校案内パンフレット 入管提出書類
9-1-3 レベル設定に当たっては、国内でまた国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしているか	4	国内でまた国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしている。	JLPT 新基準をベースにしてレベル設定を行っている。	JLPT 新基準の他に、CEFR などの枠組みを取り入れたレベル設定を検討中。	学校案内パンフレット 入管提出書類
9-1-4 教育内容及び教育方法について、教員間で共通理解が得られているか	4	教員間で共通理解が得られている。	定期的に研修を行い、指導マニュアルを作成して周知している。	100 名を超える教員の共通理解を得るために、指導マニュアルのさらなる改定が必要である。	研修資料 指導マニュアル
9-1-5 カリキュラムは体系的に編成されているか	3	カリキュラムは体系的に編成されている。	学習目的に合わせて、JLPT の新基準も踏まえつつ、初級から上級まで体系的に整備されている。	初級から超級まで一貫したカリキュラムの整備を実行中。	学校案内パンフレット 年間カリキュラム
9-1-6 教育目標に合致した教材は選定されているか	4	教育目標に合致した教材が選定されている。	コースの目的に沿って、教務で十分に検証された教材を選定しており、教材変更は導入計画をたてて行っている。	教材情報を定期的に更新し、学生のニーズに合った教材選定を常に行っている。	学校案内パンフレット

9-1-7 補助教材、生教材を使用する場合は、出典を明らかにするとともに、著作権法に留意しているか	3	補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにし、著作権法に留意しているが、周知徹底は充分とは言えない。	著作権法に抵触する教材の使用は認めていないが、全教員共通のルールは未作成である。	教員全体に注意を促すルール策定が必要。	特になし
9-1-8 授業に関する学習リソース及び情報を、授業開始までに教員に提示しているか	4	授業に関する学習リソース及び情報を、授業開始までに教員に提示している。	学習リソース・情報は研修時や学期初めに担当教員に提示し、共有している。	100名を超える教員に漏れなく提示できているか、常に確認が必要である。	指導マニュアル
9-1-9 教員配置が適切になされているか	4	教員配置が適切になされている。	全教員の指導歴を把握し、指導可能なレベルに配置している。	定期的に研修を行い、全教員の指導歴を記録していく。	タイムテーブル 教員リスト

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
<p>学生がまったくの未習者として来日し、それぞれの希望した進路、資格の取得までのサポートとして、何が求められ、何を求めていかなければならないのか、そのために何が必要となっているのかを見定め、カリキュラムの策定、教材選定を行わなければならない。各教師がそのための情報収集、情報共有を密にし、様々な分野への知識、見聞を広めることが必要となっている。それを学校の財産とし、教師も学生も研鑽できるカリキュラム編成を目指したい。</p>	<p>日々変動を続ける社会情勢や、出版される教材、必要とされる知識など、各教員、学校教務に求められる情報、知識も変化しているので、教師自身が勉強できる場を多く設け、学生の学習により有効な教授法や教材の研究ができる環境を作っていくことで、学校全体のレベルの向上が見込まれると考える。校内外を問わず、教師の研鑽の場を作り、機会を与えていきたい。</p>

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

## 9-2 実施

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-2-1 授業開始までに学生の能力を筆記試験等により判定し、適切なクラス編成を行っているか	5	授業開始前に、オリジナルのプレイスメントテストを実施し、クラス配置している。クラス開始後も学生の申し出及び、担当教員からの報告で、より適切なクラスへの異動を検討し、配置している。	在校生からランダムに作成したテストを受けてもらい、点数の分布を分析した。そのデータに基づき、クラスのレベルを決定している。	学習期間の予定が短い、資格試験に間に合わないなどの理由から適切なクラスよりも高いレベルを希望する学生が每期若干名クラス変更を申し出る。適切なクラスで学ぶことのメリットの説明、飛び級の条件説明等を適時行っている。	インタビューシート プレイスメントテスト A~D
9-2-2 教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達しているか	4	各クラスに配置したクラス担任が、学生の目的等を把握している。	原則としてクラス担任は専任が担い、必要に応じて非常勤講師に情報を共有している。入学前の情報と、各期に実施している進路面談や個別記録記録も担任はすべて共有している。	情報の共有に時差が生じることも見られた。教員間でコミュニケーションを密に取り、一丸となって学生指導に当たれるよう努力したい。	進路データ・面談記録表 個人情報調査票
9-2-3 決定したシラバスによって授業が行われているか	2	各レベルの使用教材、進度、時間数、担当教員等は明確化されているが、それぞれの一覧表を一まとめにしたシラバスの整備が遅れている。	学生の国籍比率、選択授業の希望者の割合等の変化が2015~2016度は大きく、今までのシラバスから改編した。その整備が遅れている。	学生のニーズに合わせ、また学校としての方針をきちんと確立し、教職員はもちろん、学生にも明示できるシラバス作りが急務。	特になし
9-2-4 修了の要件が定められ、学生の理解できる言語によって明示されているか	3	入学時に主要言語で資料、画像等を交え、学則、学習生活、日常生活、法令順守、進路準備等の説明を行い、理解した旨誓約書を書かせている。	左記に加え、日々成績、出席について指導を行っている。	理解と実行とは必ずしも一致するとは言えず、若干の行き違いが発生する。学生の認識確認を徹底したい。	学則 オリエンテーション ppt ガイダンス資料

9-2-5 教育内容に応じた教育用機器を活用しているか	4	CD デッキ、DVD プレーヤー、電子黒板、書画カメラ、ipad、パソコンを保有しており、教育内容に応じた活用方法を共有している。	聴解、アクセント矯正など会話能力の向上に、また、電子黒板 ipad 等はプレゼンテーション、試験対策、読解指導等に活用している。	レベル、内容、学生の性質等に電子機器の使用が日本語学習にどのような効果をもたらすのかの検証方法を確立する必要がある。	電子機器使用教案
9-2-6 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録しているか	5	出席簿及び、学校サーバー内にて出席管理を行っている。また、授業記録簿は毎日記録、管理し、5年間保管している。	授業担当者、担任、事務局の三重確認で、記入漏れ、入力ミスなどが無いよう管理を行っている。	出席簿・授業記録簿共に原本の保管場所確保が今後の課題である。	出席簿・授業記録簿
9-2-7 理解度・到達度の確認が、適正な時期に行われているか	4	各レベルの課の学習修了後オリジナルのアチーブメントテストを使用し到達度を測っている。また、教科書修了後には校内実力テストを実施し、各クラスの到達度を測っている。	どの期に入学した学生であっても、同レベルであれば、実力、到達度を比較することができ、指導の参考にできる。	今後は対外的にも各レベルの到達度を示せるように、cando ステートメントに置き換え可能にする予定。	アチーブメントテスト 成績記録簿 実力テスト成績記録表
9-2-8 学生の自己評価を把握しているか	4	年2回行っている「学生満足度アンケート」の項目として、授業の理解度、自己学習時間等の項目を設け、自覚を促すと共に現状把握に努めている。	アンケート結果を踏まえ、個別指導の一助としている。	学生の自己評価と、実情は必ずしも合っているとは言えないため、さらなる啓蒙が必要となる。自己分析をさせ、目標を高く持たせる指導を行う。	学生満足度アンケート 分析結果報告書
9-2-9 個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援が行われているか	4	クラス担任が原則としてそのクラスの学生の個別指導を行っているが、進路、生活指導が必要な学生に対しては専門の担当者が当たっている。	左記に加え、教職員会議で問題点等を共有、今後の対策について協議の上、担当者に適切なサポートができるようにしている。	指導時間の調整が難しいことがあるため、学生に時間厳守を指導したい。	学習指導報告カード 教職員会議議事録

9-2-10 特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けているか	3	特定の支援を必要とする学生の受け入れ例が今のところないため、その評価ができない。	NA	NA	NA
9-2-11 授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処しているか	4	生活指導担当者及び、ビザ取次ぎ申請担当者、教務主任、校長が、その相談、苦情の内容により、適切に迅速に対応している。	学習指導報告カードに相談内容、担当者、今後の対処などを記入し、教職員会議で問題点等を共有、今後の対策について協議の上、担当者に適切なサポートができるようにしている。	各言語の担当者ができる限り対応しているが、それ以外の母語の学生の対応には苦慮するところである。より決め細やかな対応ができるようにしたい。	学習指導報告カード 教職員会議議事録
9-2-12 学習内容、時間割、成績等、教育に関する学生の留意点と、相談担当者が分かる文書を入学時に学生に配布しているか	4	学則、年間スケジュール、進路指導スケジュール等配布し、さらに ppt を使用しながら読み合わせを行っている。	前述のとおり	入学時にすべてを理解することは難しいので、定期的にガイダンスを行い、啓蒙、周知を行っている。	学則 年間スケジュール 進路指導スケジュール
9-2-13 留学生活や入管法上の留意点と、それらに関する相談担当者が分かる文書を入学時に配布しているか	4	学則、年間スケジュール、進路指導スケジュール等配布し、さらに ppt を使用しながら読み合わせを行っている。	前述のとおり	入学時にすべてを理解することは難しいので、定期的にガイダンスを行い、啓蒙、周知を行っている。	学則 年間スケジュール 進路指導スケジュール
9-2-14 JLPT、EJU の指導体制はあるか	4	学生のレベル、ニーズに合わせ、適切な指導を行っている。特に中級以上の学生には選択科目を設け、より希望に合う級の指導が受けられるようにしている。	選択授業では、事前に学生にアンケートを実施、希望級を設定。年間で準備期、実践期の内容を変えて対策指導を行っている。	実際のレベルと学生の希望は必ずしも合うとは限らず、クラス編成時に内容と共に授業の進め方についても検討、実施をしている。	選択科目アンケート 選択科目科目別スケジュール

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない



総括	課題及び改善内容
<p>学生が生活の中で日々抱えている問題は多岐にわたっているが、その一つ一つにできる限り迅速に、適切に対応できるよう、情報の共有に教職員全員が努めている。学生の少しの変化も見逃さず、また積極的な声かけ、定期的な学生面談等で得た情報に対応できるスキル向上と、教職員間での報告、相談を心がけている。学校全体での見守りで、学生が安心して、より安全に、自身の希望に合った学習と生活を手にできる環境づくりに努めたい。</p>	<p>学生の個人情報の取り扱いには十分に留意したい。また、学生の中にはなかなか自分のおかれた環境や希望を話さないものもいるので、コミュニケーションを密にし、学生が話したくなる環境を作っていくことも必要であると考ええる。さらに、教職員全員の認識が同じになるよう、教職員間でもコミュニケーションを密にし、同じ理念の下に指導に当たれるようにしたい。</p>

最終更新日付	2017年3月3日	記載責任者	金 枝蓮
--------	-----------	-------	------

### 9-3 成績判定

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-3-1 判定基準及び判定方法が明確に定められ、開示されているか	3	成績の基準は明確に定められており、平準化されているが、学生の認知度は低いように感じられる。	進級に関しては、教務会議で決定しているため、学生に明確に開示されているとはいえない。	日ごろから成績への意識を持たせるよう、基準、計算方法など、学生にも広く開示していきたい。	出席成績証明書 成績記録簿
9-3-2 成績判定結果を的確に学生に伝えているか	2	日常的に行っている到達度試験の結果評価及び、実力試験結果は学生に伝えているが、総合評価に関しては、求めがあった者に対して開示しているのが現状である。	前述のとおり	学生のモチベーションの維持、向上のためにも、定期的に成績表を用いるなどして学生に開示する準備を進めている。	出席成績証明書 成績記録簿
9-3-3 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証しているか	4	成績の基準は明確に定められており、平準化されている。	進級判定に関しては、教務会議で決定しており、その都度妥当性を検証、考慮に入れ、判断している。	左記のように明確な基準があり、その基準に則りながら、クラス編成、進級を話し合いで決めているのが現状なので、より客観性を高め、情報開示に努めたい。	出席成績証明書 成績記録簿

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
各レベルには共通の到達度判定テストがあり、期が変わる時、教科書終了時等試験のタイミング、実施方法など、細かく規定され、整備はほぼされていると言っていい。しかしながら、教職員をはじめ、学生にもその意義、目的等の浸透がなされているかと言えば、まだまだと言わざるを得ない。	試験結果は進級や成績評価だけではなく、進路の決定は言うまでもなく、目的意識向上にもつながるものであるため、学生への周知、教職員間での認識向上に努め、開示方法についても検討をしていきたい。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

## 9-4 授業評価

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-4-1 授業評価を定期的に実施しているか	4	授業評価を定期的に行っている。毎年人事評価を行い、面談を通じてFBを行っている。	非常勤講師の定期研修のシステムがあり、授業評価を行っている。また、人事評価表により、評価を行っている。	全教員の公開授業及び評価の定期開催を検討していきたい。	研修スケジュール表 人事評価表
9-4-2 評価体制、評価方法及び評価基準が適切に定められ実施されているか	4	評価体制、評価方法及び評価基準が適切に定められ実施されている。	人事評価表の項目に従い、契約書に記載されている人事評価を基に適切に実施されている	非常勤の授業評価を漏れなく適切に行うには、評価方法の改善が必要である。	人事評価表 研修評価表
9-4-3 学生による授業評価を定期的に行っているか	4	学生による授業評価を定期的に行っている。	年2回全クラス、全職員を対象に実施している。	授業評価のアンケート項目を定期的に見直しているが、今後は専門科の意見を踏まえさらに改善していく。	学生アンケート
9-4-4 評価結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組みに反映されているか	4	評価結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組みに反映されている。	学生アンケートを基に各教員に結果のフィードバックを行い、必要に応じた研修を実施している。	フィードバックや研修頻度を上げていく。	学生アンケート

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
学生による授業評価は年に2回の満足度調査で行っており、内容も定期的に見直している。教員による授業評価は研修や人事評価を通して行っているが、適切な授業評価まで100%完璧に行えているとは言えない。	教員間で授業見学を行い、授業を直接評価するなど、スキル向上につながるための評価体制見直しが必要である。また経験値やレベルに合わせた研修内容もグループ各校と連携の上、実施ができていないため、今後は連携を深めさらに内容と実施頻度を充実させていきたい。

最終更新日付

2017年3月31日

記載責任者

金 枝蓮

## 基準 10 学生支援

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>留学生が始めて留学生生活をスタートさせる初日のオリエンテーションでは、主な4言語で、学則、留学生生活注意点、アルバイト範囲など、学生が安心して勉学に励むことができるよう、不安要素を取り除いて上がられるようなオリエンテーションに徹底し、今後の留学生生活の支援をしている。</p> <p>生活おける支援は、無料職業紹介認可を得ている本校として、常にアルバイト情報は豊富にそろえている。留学生向けのバイト内容であるか否かを厳選して情報発信をしている。また交通事故対応、病気、怪我対応、ちょっとしたトラブルなども現場では必ず対応できるような体制を取っており、学生が安心して留学生生活を送れるよう努力している。</p> <p>進路に関する支援について、毎学期開始の翌月には進路相談週間を設け、一人ひとりの目標確認や、進路希望、卒業までの学習計画を一貫指導できる仕組みが確立されている。進学情報については、いつでも学生が閲覧できるスペースの進学情報がまとまってあり、就職希望の学生には、いつでも相談出来るよう就職担当講師を配置している。限りなく学生のニーズに応えられるよう職員も日々研究をしている。</p> <p>また、皆勤賞、学校長賞など奨学金制度があり、高い学習効果を得ている。</p> <p>在籍中、卒業後の進路に伴うビザ更新については、すべて申請取次ぎで対応している。熟練の職員がスケジュールに則りそれぞれのビザの管理を行っている。また不法滞在、不法就労、長時間労働等に関しても学生調査をした後の個別カウンセリングで徹底して指導をしている。</p>	<p>休日、中長期休暇中の支援体制を検討するべきである。</p> <p>まだまだ日本人との間に壁があるこの日本社会で、外国人を受け入れてもらうためには、地域の社会貢献が一番いいのではないかと考える。地域の方と連携し、学校周辺のゴミ拾など、簡単に出来る事項を指導しながら行うことで日本の習慣を指導する意味でも有効に出来る行事としては是非前向きに検討したいと考える。</p> <p>進路先についての情報収集が職員レベルにより格差がある。大学進学、専門学校進学、就職担当講師に時期ごとに学生が殺到してしまう傾向があり、時として十分な対応時間が取れておらず、課題の改善に努めたい。将来的には「進路指導室」という独立したセクションで「進路カウンセラー」の設置が肝要と思われる。</p> <p>。出席率をしっかりと管理することで学生たちの在籍を確保できるよう、とにかく指導に指導を重ねている。しかし、教職員の認識に関しては、非常勤講師や臨時職員は共通認識を図ることが難しく、この辺りは一つの課題として今後どのように全職員に意識統一を図るかは今一度再検討しなければならないと認識している。</p>

最終更新日付

2017年3月31日

記載責任者

金 枝蓮

## 10-1 支援体制

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-1-1 学生支援計画を策定し、支援体制が整備されているか	3	皆勤賞、学校長賞といった、奨学金制度とアルバイト紹介で学生生活支援をしている。各種学校であるので通学券割引がある。	前述のとおりである。	学生のニーズに応えられる支援制度を見出していく。	学則
10-1-2 休日及び長期休暇中の学生対応はできているか	4	緊急時の対応指示系統ができています。緊急連絡フローに沿って対応をしている。	前述のとおりである。	長期休暇前に注意事項、緊急時の連絡等について、定期的な指導をしていく。	緊急連絡フロー。

\* 5..完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
奨学金制度として皆勤賞、学校長賞制度を設けている。また無料職業紹介資格を取得し、アルバイト紹介支援を行っている。日本語学校は、学生個々の身元保証人であるという強い意識の元で、学校が稼動していない休日および長期休暇中であっても、緊急を要する事柄が起きた場合、緊急連絡フローをもとで支援できる体制を構築している。	学生支援の一つとして学校寮を運営して一部支援をしているが、学生がアパートを契約する際に必要な保証人制度の支援まではできていない。今後検討していく必要性を感じている。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

## 10-2 日本社会を理解し、適応するための支援

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-2-1 入学直後のオリエンテーションを実施しているか	5	每期入学時に新入生オリエンテーションを対応言語で実施している。	前述のとおり	一部の少数言語が未対応。	年間スケジュール
10-2-2 生活に関するオリエンテーションを実施しているか	5	オリエンテーションで各国語版の外国人在留マニュアルを使って説明している。また、外部団体による生活マナー講座を定期開催。	前述のとおり	居住地域によって異なるルールなどの説明ができない。	オリエン時配布資料 外国人在留マニュアル オリエン使用 PPT
10-2-3 地域の国際交流や、地域活動に参加しているか	2	参加している。	地域の文化交流として池袋盆踊り大会に毎年参加している。	池袋は商業地であるため、地域活動そのものも少ないが、もっと積極的に参加して交流を深めていく。	特になし。
10-2-4 地域社会に貢献する活動は行っているか	1	地域社会に貢献する活動は行っていない。	前述のとおり	日本事情の造詣を深め、地域の貢献と社会性を育むためにボランティア活動の実施を計画したい。	

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
入学時のオリエンテーションでは、学校生活のみならず、留学生生活を安全に送るための知識情報を共有している。配布資料は基本的に母国語で、また PPT 資料を用意して、より理解を深められやすくしている。日本語学校は単に日本語を学ぶための場ではないことを、職職員は常に意識を高く持つようにして、学生達にも理解を深めるべく努力している。その一環として、日本の文化体験にも積極的に取り組んでいる。また地域のお祭りにも参加している。	国際交流や地域社会への貢献ができる留学生活はすばらしい経験になるはずであり、今後積極的に活動を実施していきたい。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

### 10-3 生活面における支援

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-3-1 住居支援を行っているか	5	直営寮のほか、提携寮も通学圏内に所有しているほか、賃貸業者による校内相談会を定期的実施。	前述のとおり	特になし	HP 募集要項
10-3-2 アルバイトに関する指導及び支援を行っているか	5	無料職業紹介事業届出書を池袋公共職業安定所へ提出して受理通知を受領している。	前述のとおり	求人票を掲示、履歴書の書き方など指導を行っているが、今後さらに面接指導なども行っていく。	無料職業紹介事業届出書
10-3-3 交通事故等の相談体制が整備されているか	3	事故発生した際は随時対応している。	前述のとおり	随時対応はしているが、保険の知識等には疎いため、対応しきれないケースもある。	特になし
10-3-4 定期的に健康診断を実施しているか	5	年1回結核検診を受診させている。	前述のとおり	随時入学される短期生の健康診断の実施は徹底が難しい。	特になし
10-3-5 学生全体の生活状況について定期的に調査しているか	5	年4回「学生生活調査」を実施し、さらに個別面談をおこなって調査している。	問題を抱えている学生面談はすべて「学生生活指導記録表」記録を残している。職員にはメールで状況を共有、学生状況を把握している。	職員の学生生活指力のバラつきをなくすための研修会を重ねていく。学生情報の一元管理は全社の課題事項として取り組む。	学生個人情報調査表
10-3-6 その調査結果に対する裏付け確認は適正に行っているか	5	適切に行っている。	前述のとおりである。	特になし	特になし。

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
<p>生活面の支援はしっかり対応できている。住居、アルバイト、事故事件等の相談には、アドバイスのみの支援ではなく、必ず職員が一緒に対応に当たっている。また、従来の健康診断は、年に1度のみ受けられたが、今後は年4回、新入生が入学した翌月には必ず健康診断を受けさせることができるようにした。また、特に重点的に取り組んでいる、学生生活調査を年4回実施しており、問題を抱えている学生の指導、サポートに重点をおいている。</p>	<p>職員の学生指導力にバラつきをいかに平準化するための研修会を実施、また学生情報を適時にアップデートしていくことで、学生支援を強化していきたい。</p>

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------



## 10-4 進路に関する支援

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-4-1 進路指導担当者が特定され、指導体制が有効に機能しているか	4	進路指導担当者は進学担当者と就職担当者に分かれ、常勤し、指導に当たっている。	進路担当者は情報収集、各種説明会、研修などに参加、また、入学時から学生の希望把握に努め、担当者のみならず、情報をサーバー内で共有している。	多様化する学生の進路希望に対応するには経験値が不可欠で、特定の担当者に頼る傾向が続いている。情報を共有、対応策を皆で検討するなどしてスキルアップを図る。	業務担当表
10-4-2 学生の進路希望を把握し、指導担当者間で情報が共有されているか	4	進路担当者を中心に、各クラス担任がまず学生と個人面談し、進路の希望を聴取、その後進路指導担当者と情報を共有し、進路指導の方向性を決定。最適な進路に導いている。	各担任が進路面談記録表を随時更新、教職員会議の中で、情報を共有している。学生のレベル、経済状態、希望を鑑み、全職員が学生の状況把握に努めている。	これと言った目標を持たない学生が増加傾向にあるようだ。そのため、何をしたいのか、どんな適性があるかなどから引き出さなければならぬ。面談回数を増やす、初級段階から希望を見極めるよう指導するなどに対応。	進路データ・面談記録表
10-4-3 進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にあるか	3	最新の情報、資料を常に貼り出し、常時閲覧可能なファイルを設置している。	日々更新される情報の提供と周知を朝昼礼で教職員に伝達。随時ポスターやチラシなどを作成し、教室、廊下にある掲示板に掲示している。	注意喚起を呼びかけても、学生間に情報量の差が出てしまい、周知徹底が難しい。今後はメールの一斉配信等の手段も考慮に入れていきたい。	各学校案内資料 進路説明会資料 各階、各教室掲示板
10-4-4 入学時からの一貫した進路指導を行っているか	4	入学時に主要言語で資料、画像等を交え、進路準備等の説明を行う。その後は期毎に個人面談を行い、進路及び生活に関するカウンセリングを行い、記録を残している。	左記に加え、日々成績、出席についてと進路指導を行っている。	進路の明確な希望がある学生はいいが、目的がはっきりしないままの学生の適正を見極め、進学や就職へのアプローチ指導をし、早めに進路決定、行動させるよう継続した指導が必要である。	学則 オリエンテーション ppt 進路ガイダンス資料 ppt 進路データ・面談記録表

10-4-5 EJU、JLPT、BJT等の受験指導体制は整っているか	5	願書購入から申し込み、成績入手まで、学校を通して実施しており、年度毎にデータを管理し、成果の分析を行っている。	願書の書き方の指導、願書及び受験票、成績結果のコピーを保存、一覧表で管理分析を行っている。	JLPTはネットで願書代なく申し込みができるので個人で申し込みを行う学生も増えた。団体申し込みを検討したいが、受験する学生の人数が増えた際に、データ入力に対応する人員の確保が課題となる。	年度ごとの試験成績一覧表
10-4-6 大学学内試験対策の指導体制は整っているか	4	担任、教務が過去の出題された問題を元に個別の指導に当たっている。	大学進学を目指す学生が少数であるため、試験日程に合わせ、指導が行える。	大学進学準備クラスでの対応と、個別での対応となっているが、希望者が増えた時の教師の負担を考え、指導方法の統一、資料の蓄積が必要であると考ええる。	大学進学準備クラススケジュール 進路データ面談記録
10-4-7 受験時、就職時の面談指導の体制は整っているか	4	同上	就職クラスでは模擬面接の授業が設けてあり、想定問答の学習もしている。	同上	面接質問練習プリント 就職クラススケジュール

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
毎学期、新入生が入学した翌月、進路指導週間を設定、情報収集、データ入力、情報共有の徹底に努めている。特に進学先情報一元管理は、各校の情報アップデートもできており、適時に学生のニーズにあった情報提供ができていけるといえる。進学・就職に役立つ選択授業も取り入れ、多様な進学目的、就職目的に応えるように努めている。	情報収集・データベース作りの強化を常としているが、もっとも大事な、学生のモチベーションを維持させられる講師の指導力が要である。進路指導が適切に行える講師には高いスキルが求められるため、今後も継続的に研修の見直しを行っていく必要がある。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

## 10-5 入国・在留関係に関する指導及び支援

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-5-1 研修受講等により、最新の情報収集が出来る体制がとられているか	5	研修受講等により、最新の情報収集が出来る体制がとられている。	日振協協議会、交付に係る入管説明会等に参加し、最新情報の収集および部署内での情報共有を行っている。	特になし	研修、協議会等参加報告レポート
10-5-2 入管法上の留意点について、学生への伝達・指導等を定期的に行っているか	5	入管法上の留意点について、学生への伝達・指導等を定期的に行っている。	入学時のオリエンテーションを各国言語で実施。その他適宜校内掲示や配布物でも各国言語で伝達・指導を行っている。	特になし	オリエンテーション配布資料 説明用資料 資格外活動の際の注意事項 在留カード携帯義務（校内掲示物）
10-5-3 在留に関する学生の最新情報を、正確に把握し管理しているか	4	在留期限、一時帰国、修了者・退学者の進路等、在留に関する学生の最新情報を把握管理している。	SL による在留期限の管理。一時帰国者には一時帰国届出書により出国者の管理を行っている。修了者、卒業者の進路により、帰国確認の実施やビザ変更者の追跡確認、進学者の入学許可書の入手を行い管理している。	学生数が多く、卒業時など大量に学生が学校を離脱する際の確認作業が困難。	在留資格期間更新者リスト 退学者リスト 一時帰国届出書 出国時のチケット
10-5-4 在留上問題のある学生、及び問題になりえる学生の指導を個別に行っているか	5	出席不良者をはじめ、問題のある学生及び問題になりえる学生に関して個別面談を実施し定例会議でも共有している。	まずは担任による指導を行い、教務主任、教務部長、校長と段階を踏んで個別指導を実施している。事務局員も同席し、通訳のみならず生活指導を行っている。	問題のある学生を漏れなく指導するシステム作り。	学生指導内容報告カード

10-5-5 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを、継続的に行っているか	4	不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを、継続的に行っている。	入学時のオリエンテーション実施。 出席不良になりかかっている学生の情報共有を職員会議で行い、対応策を講じている。	問題のある学生を漏れなく指導するシステム作り。	学生指導内容報告カード 職員会議議事録
10-5-6 過去3年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていないか	2	平成26年度に多くの違反者を発生させてしまっている。	前述のとおりである。	学生指導管理水準を引き上げるための勉強会を実施していく。	入管適正校通知
10-5-7 除籍、退学、修了、卒業で帰国予定となった学生の帰国確認を適時行い、それら出国確認の書類を適正に管理しているか	5	帰国確認の実施と帰国確認書類の管理を実施している。	修了、卒業時に証書とともに帰国後の案内を配布、説明している。学生帰国後にメールでリマインドを実施。その他電話確認、入管HPでの在留カード失効情報照会も活用。	様々な手段で連絡を講じても応答のない学生への対応。	帰国後のご案内 パスポート出国印、穴の開いた在留カードコピー（写真） 退学者リスト

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
在留期間中の在留関係指導は、もっとも大事な学生支援の一つとして捕らえている。問題を抱えている学生が、相談しやすい環境を作ることを最優先ではあるが、問題が起きてからでは手遅れになることも教職員は理解している。情報収集を怠らないように心がけし、情報をもとに学生には適時に適切な指導を施していくよう努めている。在籍期間中の指導はもちろん、卒業後の進学後、就職後のビザ更新や変更、帰国確認も適正管理できている。	資格外活動状況の掌握は、学生個人からの情報に頼らざるを得ず、複数のアルバイト実態等の管理の難しさを感じている。「管理」から「事前指導」へシフトしていくことを徹底していくことで、学生自らが問題意識を持ち、何かあれば学校に相談しやすい学校環境にしていきたいと考える。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

## 基準 1 1 教育成果

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>現在本校では、期末試験テストや JLPT 模擬試験などで学習者の成績の向上度を把握し、EJU など外部試験結果のデータ管理によって、授業カリキュラムに反映している。しかし、ISI 独自のデータ管理システムがないため、今年度は外部試験の結果と合格校との連動データ表の開発が事業計画に盛り込まれた。毎年のデータを蓄積することで難関大学の合格に必要な EJU のスコアや、就職等に必要 J L P T のレベルが見える化し、進路指導に役立てることができ、進学率向上を目指す。</p> <p>成績評価に関しては、近年の教育業界で主流となっている「コンピテンス」を導入し、知識の習得だけでなく社会適応能力なども含めた総合評価に改定しようとして今年度からカリキュラム改編に着手予定である。</p> <p>卒業時も卒業試験や進路結果によって適切な修了判定をしており、卒業生においては、卒業後の連絡先を退学届に記入、SL で管理しており、帰国確認やビザ変更確認をおこなっている。</p>	<p>卒業時に適切な修了判定をしているが、近年学習者の卒業後の進路が多様化しており、数値化された修了判定方法の見直しの検討の余地がある。その原因は以前に比べ、大学進学以外に就職希望の学生も増えており日本語能力だけでなく社会適応力や人間性も求められるようになったことである。言語知識を高めるだけの従来のカリキュラムでは測ることのできない「国際力」「人間力」を高めるために、グローバル社会で通用できる人材を育成するカリキュラムやシラバスの再構築が肝要となっている。</p> <p>また、卒業生のその後の就職先や活躍の状況がわかる仕組にがないため、「同窓会組織」など、在校生だけでなく卒業生のネットワークの整備が求められている。</p>

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

## 11-1 成果の判定

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
11-1-1 進路及び卒業・ 修了判定が適切に行わ れているか	4	定期的に行う個人面談にお いて、入学時から卒業後の進 路について話し合い、適切な 指導を行っている。	進路面談記録を残し、担任や 相談者が代わっても学生の 希望がわかるようになって いる。	進路希望がなかなか決まら ない学生、指導しても動き出 すのが遅い学生の対応が課 題となる。面談回数を増やす などして対応していく。	進路データ・面談記録表 成績管理表
11-1-2 EJU、JLPT 等 の外部試験結果を把握 し、適切に管理されて いるか	5	願書購入から申し込み、成績 入手まで、学校を通して実施 しており、年度毎にデータを 管理し、成果の分析を行って いる。	願書の書き方の指導、願書及 び受験票、成績結果のコピー を保存、一覧表で管理分析を 行っている。	JLPT はネットで願書代なく 申し込みができるので個人 で申し込みを行う学生も増 えた。団体申し込みを検討し たいが、受験する学生の人数 が増えた際に、データ入力に 対応する人員の確保が課題 となる。	年度ごとの成績一覧表

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
入学試験の合否・入学許可証の有無、内定通知書、帰国チケットなど、卒業判定に必要な書類を漏れなく回収している。また、外部試験の願書、受験票、結果は全学生から回収し、保管している。	試験結果の数字はデータ管理しているが、結果票のコピーでの保管には限界があるので、保管方法には改善の余地がある。同じく、合格通知・入学許可証、内定通知書、帰国チケットなど、卒業判定に必要な書類のデータベース管理も一考すべきである。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

## 11-2 卒業生の状況の把握

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
11-2-1 卒業生の状況を把握するための取組みを行っているか	4	前述の通り面談を行っている。また、進学先、就職先決定時には各証明書の提出を義務付けている。	面談記録、証明書コピーをクラスごとに管理している。	決定時期によって100%回収できているとは言いがたい。きちんと把握、学生には絶対提出を義務付けていることを啓蒙。	進路データ面談記録 合格証・入学許可書保管 ファイル
11-2-2 卒業後の進路を把握しているか	4	同上に加え、帰国チケット予約確認、帰国後パスポートスタンプ部分確認を行っている。	ビザの更新、失効も確認している。	決定時期によって100%回収できているとは言いがたい。きちんと把握、学生には絶対提出を義務付けていることを啓蒙。	退学・修了届 各添付書類（帰国チケット・入学許可書・パスポートコピー等）
11-2-3 進学先、就職先等での状況や、卒業生の社会的評価を把握しているか	2	進学先からの報告に頼り、こちらからの積極的働きかけはほとんどしていない。個人的レベルの域を出ない。	システムが構築されていない。	今後は OBOG 会などを企画し、卒業生の活躍を今後の学生の目標とできるようなシステム作りをしたい。	

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
卒業生の卒業直後の進路先や帰国状況の把握は、卒業判定とも合わせてほぼ実行できている。しかし、卒業後の動向や最終的な就職先などを後追いする仕組みは確立されていない。また、同窓会などは組織されていない。	卒業の出口の把握はできているが、その後の就職先などを後追いできていないので、同窓会名簿などの整備を通じて、国際的に活躍する卒業生と在校生のパイプをつなげる改善策が必要である。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	金 枝蓮
--------	------------	-------	------

「出入国及び難民認定法」内の日本語教育機関の告示基準の改定により、日本語教育機関の「学校評価」が義務化されたことを受け、教育の質保証・向上に資するという観点から本校においても「学校自己点検・自己評価報告書」を作成した。

平成28年度の報告書に関しては、日本語教育振興協会の「日本語学校における学校評価ガイドライン」を参考に学内に設けた委員会で議論を重ねた結果、以上の通り自己点検・自己評価報告書を作成した。

ISI外語カレッジ自己点検・自己評価報告書を作成するにあたり学内に設けた委員会のメンバーは以下のとおりである。

平成29年3月

ISI外語カレッジ 自己点検・自己評価委員会

校長	金 枝蓮
事務局主任	藤森 徹
事務局	金 美香
教務主任	郷原 尚美
教務	杉山 雅代
教務	岩淵 篤史